

(別紙様式1) ※この様式は、茨城県光化学スモッグ対策要綱第8条(燃料使用量等の減少計画の提出)により、1万Nm³/H以上のばい煙発生事業者(協力工場・事業者)の方が、緊急時の発令がなされたときに講ずべき燃料使用量等減少措置実施計画の提出をお願いするものです。

オキシダントに係る緊急時の燃料使用量等 減少措置実施計画(変更)届出書<記載例>

平成〇〇年〇〇月〇〇日

※1万Nm³/H以上のばい煙発生事業者(届出内容に変更が生じた場合にも)

所轄の環境政策課県央環境保全室または各(県北,鹿行,県南,県西)県民センター環境・保安課へ
原本2部提出

茨城県 〇〇 県民センター 長殿

※提出先については、注意報等発令区域とは異なります。

届出者

印

※氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

茨城県光化学スモッグ対策要綱第8条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇〇(株) 〇〇工場	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇市町村〇〇 Tel()	※ 受理年月日	
燃料使用量等の減少計画	別紙のとおり	※ 審査結果	
		※ 備考	

備考1 ※の欄には、記載しないこと。

2 届出書及び別紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

燃料使用量等の減少計画

燃料使用量等を減少しようとするばい煙発生施設の種類		令別表第1 ばい煙発生施設の名称	
上記ばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号		No. ○○～○○	
燃料及び原料の種類	重油, 灯油, 電気, ガス等	燃原料の1時間当 たりの使用量	重油換算○○L/H 換算式は次のとおりです。
<p>○ 重油10リットル当たりが、液体燃料は10リットルに、ガス燃料は16m³に、固体燃料は16kgにそれぞれ相当します。</p> <p>○ なお、「ガス機関」の重油換算については以下の計算式により計算します。</p> <p style="text-align: center;">重油換算量(L/H) = 換算係数* × 気体燃料の燃焼能力(Nm³/H)</p> <p style="text-align: center;">※換算係数 = 気体燃料の発熱量(kcal/Nm³) / 重油の発熱量(kcal/L)</p> <p style="text-align: center;">ただし、上式の気体燃料の発熱量は総発熱量を用い、重油の発熱量は9,600kcalとする。</p>			

減 少 計 画 の 内 容	予 報	燃料使用量減少のための措置	減少措置の準備
		NO _x 減少のための措置	※ 減少措置の準備
		その他の方法（具体的に）	燃焼管理の徹底
	注 意 報	燃料使用量減少のための措置	通常の燃料使用量の20%程度削減
		NO _x 減少のための措置	※ ばい煙中の窒素酸化物の量の20%程度削減
		その他の方法（具体的に）	燃焼管理の徹底
	警 報	燃料使用量減少のための措置	通常の燃料使用量40%程度削減
		NO _x 減少のための措置	※ ばい煙中の窒素酸化物の量の40%程度削減
		その他の方法（具体的に）	燃焼管理の徹底
	重 大 警 報	燃料使用量減少のための措置	通常の燃料使用量の40%程度削減
		NO _x 減少のための措置	※ ばい煙中の窒素酸化物の量の40%程度削減
		その他の方法（具体的に）	措置状況を所轄の○○県民センター環境・保安課へ電話連絡
確認方法	燃料流量計	指示値の確認による	

(注) ※の欄は実測値のある場合のみ記入すること。その場合、測定法、測定データ等措置効果の確認のできる資料を添付すること。

燃料使用量等の減少計画

燃料使用量等を減少しようとするばい煙発生施設の種類		令別表第1 ばい煙発生施設の名称	
上記ばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号		No. ○○～○○	
燃料及び原料の種類	重油, 灯油, 電気, ガス等	燃原料の1時間当 たりの使用量	重油換算○○L/H 換算式は次のとおりです。
<p>○ 重油10リットル当たりが、液体燃料は10リットルに、ガス燃料は16m³に、固体燃料は16kgにそれぞれ相当します。</p> <p>○ なお、「ガス機関」の重油換算については以下の計算式により計算します。</p> <p style="text-align: center;">重油換算量(L/H) = 換算係数* × 気体燃料の燃焼能力(Nm³/H)</p> <p style="text-align: center;">※換算係数 = 気体燃料の発熱量(kcal/Nm³) / 重油の発熱量(kcal/L)</p> <p style="text-align: center;">ただし、上式の気体燃料の発熱量は総発熱量を用い、重油の発熱量は9,600kcalとする。</p>			

減 少 計 画 の 内 容	予 報	燃料使用量減少のための措置	
		NOx 減少のための措置	
		その他の方法（具体的に）	
	注 意 報	燃料使用量減少のための措置	減少措置の準備
		NOx 減少のための措置	※ 減少措置の準備
		その他の方法（具体的に）	燃焼管理の徹底
	警 報	燃料使用量減少のための措置	通常の燃料使用量20%程度削減
		NOx 減少のための措置	※ ばい煙中の窒素酸化物の量の20%程度削減
		その他の方法（具体的に）	燃焼管理の徹底
	重 大 警 報	燃料使用量減少のための措置	通常の燃料使用量の20%程度削減
		NOx 減少のための措置	※ ばい煙中の窒素酸化物の量の20%程度削減
		その他の方法（具体的に）	措置状況を所轄の所在市町村長へ電話連絡
確認方法	燃料流量計	指示値の確認による	

(注) ※の欄は実測値のある場合のみ記入すること。その場合、測定法、測定データ等措置効果の確認のできる資料を添付すること。

(別紙様式2) ※この様式は、茨城県光化学スモッグ対策要綱第7条(緊急時の措置)別表第5により、協力工場・事業者の方が、同要綱第8条(燃料使用量等の減少計画の届出)に基づき、緊急時発令時に対処いただいた内容の提出をお願いするものです。詳しくは、要綱別表第5をご覧ください。

※別表第5抜粋・注意報発令時 大量ばい煙発生事業者に対し、通常の燃料使用量等又はばい煙中の窒素酸化物の量の20%程度削減するよう協力を求める。

※大量ばい煙とは、4万Nm³/H 以上発生の協力工場・事業者です。

なお、予報のみ発令時の大量ばい煙発生事業者の報告例(準備状況)及び注意報発令時の1万Nm³/H以上4万Nm³/H 未満事業者の報告例(準備状況)については、この記載例2頁目をご覧ください。

※休業日により削減状態であった場合や減少措置を取れなかった場合も、その旨を備考欄へ記載し提出をお願いします。

燃料使用量等減少措置状況報告書<記載例>

平成〇〇年〇〇月〇〇日

※前月の発令分を毎月10日迄に所轄の環境政策課県央環境保全室または各(県北、鹿行、県南、県西)県民センター環境・保安課へ1部提出(H21年度より原本へ押印後 FAX送付可となりました。)

茨城県 〇〇県民センター長 殿

※提出先については、注意報等発令区域とは異なります。

報告者

印

※氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

減少措置年月日		平成〇〇年〇〇月〇〇日 ※発令日毎に作成			
減少措置時間	開始〇〇時〇〇分 ※ 発令された時間 終了〇〇時〇〇分	発令された情報等の区分		注意報	
減少措置をした施設の種類の種類	減少措置をした時間 ※実際に削減できた時間を記載してください。	減少措置直前の燃料使用量の燃料の種類も記載してください。	減少措置直前の窒素酸化物	減少措置により削減した燃料使用	減少措置により削減した窒素酸化
ボイラー施設(第1号機)	〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分	重油 289.0	4,078.0	59.0	833.0
ディーゼル機関(第1号機)	〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分	1,737.8	43.2	1,737.8	43.2
〇〇炉(稼働休止中)	〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分	—	—	—	—
<p>※ 施設毎に1行記載してください。行数が足りない場合は、別紙等に記載してください。</p> <p>※ 数値について…小数点第2 位を四捨五入し小数点第1 位までとしてください。</p>					
合 計		2,026.8	4,121.2	1,796.8	876.2
		減少率 (%) 21.2%			
備 考	<p>※この欄には、「工場休業日であった為、未稼働であった(参考)平日稼働時の燃料使用量2,500L/Hに対し、当日1,800L/H(−28%)であった」等、通常(定格)能力で運転していなかった場合や削減出来なかった理由などを記載してください。</p>				

(別紙様式2)

※予報のみ発令時の大量ばい煙発生事業者の報告例(準備状況)及び注意報発令時の1万Nm³/H 以上4万Nm³/H 未満事業者の報告例(準備状況)について

※休業日により削減状態であった場合や減少措置を取れなかった場合も、その旨を備考欄へ記載し提出をお願いします。

燃料使用量等減少措置状況報告書<記載例>

平成〇〇年〇〇月〇〇日

※前月の発令分を毎月10日迄に所轄の環境政策課県央環境保全室または各(県北,鹿行,県南,県西)県民センター環境・保安課へ1部提出(H21年度より原本へ押印後FAX送付可となりました。)

茨城県 〇〇県民センター長 殿

※提出先については、注意報等発令区域とは異なります。

報告者

印

※氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

減少措置年月日		平成〇〇年〇〇月〇〇日 ※発令日毎に作成			
減少措置時間	開始〇〇時〇〇分 ※ 発令された時間 終了〇〇時〇〇分	発令された情報等の区分		予報/注意報	
減少措置をした施設の種類	減少措置をした時間 ※ 自主的に削減協力された場合には、記載してください。	減少措置直前の燃料使用量 リットル/H	減少措置直前の窒素酸化物量 Nm ³ /H	減少措置により削減した燃料使用量 リットル/H	減少措置により削減した窒素酸化物量 Nm ³ /H
	時 分～ 時 分				
	時 分～ 時 分				
	時 分～ 時 分				
	時 分～ 時 分				
		減少率 (%)			
備 考	※この欄には、減少措置の準備及び燃料管理の徹底を行った旨の記載、又は、「工場休業日であった為、未稼働であった」等、通常(定格)能力で運転していなかった場合や準備体制に入らなかった理由などを記載してください。				